東京八王子プロバスクラブ
創立 1995 年 10 月 18 日
2021～2022 年度　テーマ　プロバスライフを　「元気にたのしもう」

プロバスだより
第320号

2022 年 7 月 14 日発行
編集・発行：情報委員会

第 320 回例会

日　時　令和 4 年 6 月 9 日（木）　12：00～
場　所　八王子エルシィ
出席者　38 名　出席率　80 ％
（会員総数　51 名、欠席 11 名、休会 2 名）

1. 開会　　野口例会副委員長

第 320 回例会開催を告げ、配付資料の確認が行なわれた。

2. 会長挨拶　　河合会長

今期最後の例会です。よろしくお願いします。

今年度もコロナ禍に翻弄された一年という印象が強く残ります。例会も昨年の 8 月、9 月、今年の 2 月と 3 回も中止となりました。開催した「例会」も感染防止のため、密にならないよう、用心に用心を重ねて実施したところです。食事も黙って食べるだけ。会話も控えめに。ただ集まって、例会を開くだけの状況が 26 期の一年間でした。

本クラブの中核事業であります「サロン事業」も 3 年連続で「中止」という結果となり、まことに残念な一年でありました。

この間、各委員会におかれましては、少ない人員体制の中で事業を支えていただきました。さらに、本会の審議機関であります理事会は、一回も欠かすことなく毎月開催され、コロナ下の組織運営と会務を滞りなく進めていただきました。ありがとうございました。

今期は、5 委員会を 4 委員会に統合し、組織の集約強化を図りました。さらに本年 11 月に予定されております「全国大会」の諸準備、加えて全日本協議会の「会長職」の引受け等、例年にない大きな課題がありました。こうした諸課題につきましても、立場、立場で皆様が献身的にご尽力下され、最善の結果をもたらしたものと思います。

さて、本日は大変に喜ばしいご報告がございます。後ほど推薦の労を取られた杉山会員からご紹介があると思いますが、泉道夫様が新入会されることであります。

さらに本日はお二人の方が例会見学に見えておられます。是非、本プロバスクラブをご理解の上、次のステップを踏んでいただけたら、こんなうれしいことはありません

以上でご挨拶を終わります。有り難うございました。

3. ハッピーコイン披露

池田副会長からハッピーコイン 19 件の披露がありました。（5～6 ページに掲載）

4. バースデーカード贈呈

6 月生れの会員に池田会員手作りのバースデーカードが贈られました。

写真左から塚本会員、一瀬会員、持田会員と会長

5. 6月のラッキーチャンス

今月のラッキーチャンスの当選者は、池田会員、深谷会員、泉会員でした。

6. 新入会員紹介

杉山会員より、今月から入会される泉道夫氏の紹介があり、和泉会員から、入会にあたっての挨拶がありました。

7. 次年度の人事構成・役員分掌（敬称略）

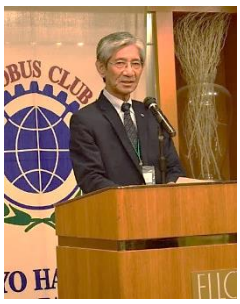
池田副会長より 2022 年度の役員人事の発表がありました。

会　長　　池田ときえ
副会長　　持田　律三
幹　事　　寺山　政秀
副幹事　　山口　三郎
例会委員会委員長　野口　浩平
　　副委員長　井上　克　　土屋三千代
情報委員会委員長　河合 和郎
　　副委員長　内山　雅之　丸山　恭
会員・研修委員会委員長　杉山　友一
　　副委員長　岡本　宝蔵　髙取　和郎
　　深谷　正徳
地域奉仕委員会委員長　馬場　征彦
　　副委員長　武田洋一郎　飯田冨美子
「宇宙の学校」プロジェクトリーダー　下山　邦夫
　　サブリーダー　　塚本　吉紀
交流担当　　一瀬　明
会計監査　　岡部　冷　　杉田　信夫
会長委嘱　全日本プロバス協議会　立川冨美代
　　田中　信昭
　　一瀬　明
　　飯田冨美子

8. 幹事報告

山口幹事

先程、杉山さんより新入会員の紹介がありました。泉　道夫さんです。



私たちも例会前にお話をさせて頂きましたが非常に趣味の広い、快活な方と感じました。お陰様で若干クラブ会員の平均年齢が下がりました。
皆様どうぞよろしくお願いしたく思います。

さて、池田副会長より次年度の役員構成ほか、会員全員の所属が示されました。

一年の経つ速さに驚かされます。私どもも今月、今期 26 期の最後の月となりました。本当にお世話になりました。次年度から寺山会員が幹事職を担当します。

ご協力よろしくお願いいたします。

9. 各委員会からの報告

(1) 情報委員会　　内山委員長

今月号は橋本会員の卓話、健康フェスタ・食育フェスタ関連記事、寄稿文があり、4 頁となりました。ホームページへのアクセス件数は 197 件ありました。

(2) 交流担当　　一瀬理事

「東京八王子２０２２」については、全日本プロバス協議会加盟 51 クラブに対して第 1 回目の開催案内を 4 月 28 日に発送したことは先月報告いたしました。現時点での参加人員概数の回答が集まりつつあり、現在集計中です。八王子の 50 名は皆さんのご協力で確保するとして全国の他クラブから 130 名の参加が必要です。目標必達に向けて全力を挙げていきます。

大会の費用に関して、参加者の会費だけではまかなえない分の穴埋めをいろいろ検討しているところです。八王子観光コンベンション協会のＭＩＣＥ開催助成金制度があることを紹介され、協会オフィスを訪問していろいろ聞いてきました。手続きは必要ですが活用できそうですので強力な援軍としてメニューの一つに加えることといたします。

また全日本の会長クラブとしての総会議案の事業計画と予算に関して、当クラブの担当するものにつき現全日本の本部とその中身を調整中です。

(3) 宇宙の学校　　下山 PJ リーダー

「宇宙の学校」の実行委員会で、9 月から始まる「宇宙の学校」の日程が決まりました。

今年度は慎重に行いますので、規模が小さくなりますが、それぞれのスクーリングと家庭学習とで充実したものになればいいと思っています。日程をお知らせ

しますので、応援、見学など考え、検討して下さい。

八王子学園八王子高校会場

9月4日（日）	10月2日（日）	11月6日（日）
開校式		閉校式
熱気球打上げ	ホバークラフト作製	スポイトロケット飛ばそう

教育センター会場

9月18日（日）	10月16日（日）	11月20日（日）
開校式		閉校式
熱気球打上げ	ホバークラフト作製	スポイトロケット飛ばそう

10. 卓話

ウクライナ避難民のための日本語教育について提言

深谷　正徳

漢字で日本語を覚える

戦火を逃れてウクライナから避難してきた人たちは、初めての日本での生活で言葉の壁が一番の問題になるのではないでしょうか。そこで私は日本語の学習法について考えてみました。

日本語の学習というと、平仮名の読み書きから始めますが、視点を変えて、漢字で言葉を覚える方がより学習効果が上がると思います。

長年、障害児の教育にたずさわった経験から言えば、仮名よりも漢字の方が覚えやすく、定着しやすいと思います。このことは外国人にも当てはまるはずです。

「アー・ベー・ツェー」と読めるからといってドイツ語がわかるということではありません。ウクライナ人が五十音をスラスラと読めても言葉を知らなければ会話になりません。大切なことは言葉を覚えることです。表意文字である漢字を覚えることは、即、言葉を覚えることであり、日本語の上達につながるはずです。

漢字を疎かにしてきた戦後教育

ところで、「平仮名よりも前に、漢字で言葉を覚える」という教育法は昭和26年に八王子市の教育委員会の指導主事であった石井勲先生の発案です。先生は小中学生の漢字力が弱くて、算数・理科・社会科などの教科書が満足に読めない状態を憂い、石井式漢字教育法を開発されました。

終戦後の小中学生が、教科書も読むことができないような国語力になってしまったのは、当時の時代背景が強く影響していると考えられます。

第二次大戦で日本は敗れ、ＧＨＱによって教育改革が進められ、極端に漢字制限がされ、「当用漢字」が定められます。そして、さらに「学年別配当漢字表」が決められて、1年生には2年生以降に習う漢字を教えてはならないとし、知っている漢字であっても、学校でその漢字を習うまでは使ってはいけないということになりました。これが学力を下げる要因の一つになったと思います。

その様な状況のもとで石井先生が考え出されたのが「最初から漢字で教える」という教育法でした。石井先生は昭和28年から小学校の1年生を担任して実践し検証され、この教育法は全国各地に広まり素晴らしい成果がありました。

しかし「石井方式は文部省の学習指導要領を無視したものであり、法令違反にあたる。従って、公務員として許すべからざる行為である」と文部官僚に批判され、石井先生は小学校教育に見切りをつけ、昭和43年から幼稚園での漢字教育に転じられました。さらに八王子市めじろ台に石井教育研究所を設立して、自ら幼児を指導しつつ、指導法の研究に努められました。

なお、県名にある「奈」「岡」「阪」など11の漢字は2010年まで常用漢字にも含まれていなかったので、学校では教えないことになっていました。

このような戦後の教育改革の影響が今なお残っており、教育界は平仮名からの学習にこだわっているのではないでしょうか。漢字教育のあり方もここで根本から考え直さなければならないと思います。

漢字カードの活用

ウクライナから避難している人たちには「漢字カード」を使った学習をお勧めします。

方法としてはウクライナ人が覚えたい言葉を聞き出しでカード化します。名刺大のカードの表面は漢字を大きく、そして下の方にウクライナ語を少し小さめに書きます。

具体的な指導例としては、まず、「本」という漢字ならば、それをウクライナ語で言い、次に「ほん、ほん」と2～3回日本語で言います。そして学習者に日本語で「ほん」と数回言わせます。ウクライナ語の語

彙が乏しい幼児等には裏面に絵や写真のあるカードを見せると良いでしょう。

私がウクライナの人に伝えたいのはそれだけです。きわめて単純なことです。ウクライナから来ている人たちを受け入れている公立の学校や日本語学校で五十音から学習しているとしても、個人的に漢字で日本語を覚えることをすれば、学習効果は必ず上がると信じています。

11. 懇親会

コロナ禍の影響で普通の懇親会は出来ず、コーヒーとケーキによる懇親の場となりました。各委員会の活動報告やメンバーの紹介、三役の挨拶等があり、和やかな雰囲気の中での終了となりました。

各委員会および本部役員の報告

例会委員会の皆さん

情報委員会の皆さん

会員委員会の皆さん

地域奉仕委員会の皆さん

研修委員会の皆さん

「宇宙の学校」のみなさん

交流担当

本部役員の皆さん

各同好会の活動報告

ゴルフ同好会の皆さん

囲碁同好会の皆さん

お茶の会の皆さん

俳句同好会の皆さん

写真同好会の皆さん

シニアダンディーズの皆さん

12. プロバス賛歌

起立・黙唱

13. 閉会挨拶　　**池田副会長**

新しい会員、泉さんをお迎えしてうれしい年度末になりました。この１年間、コロナ禍にもかかわらず各委員会・PJ・同好会は水面下でそれなりの活動をしていたご様子がわかり、安堵しました。地域奉仕委員会も変革期、時代に合わせた内容になるでしょう。

ウクライナ支援を目指すタイムリーな卓話は有益な教育論でもありました。

次年度も引き続きご協力をお願い致します。お疲れさまでした。

ハッピーコイン

◆多難の河合年度でした。よく乗り越えて来られました。敬意をもって。　　下山　邦夫

◆八王子学園吹奏楽部が出演した 4 月 20 日の日本テレビ“笑ってこらえて”を見ていただき有難うございました。6 月 1 日にも“笑ってこらえて”に再度出演しました。ご覧になられた方もおられるのではないでしょうか。ご覧になられた皆様にお礼を申し上げます。今高等学校のスポーツ関係の関東大会が開かれております。出場には東京都大会で上位に入賞しないと出場は出来ません。八王子学園では男子バスケット、女子バスケット、水泳、陸上、柔道で出場しています。八王子出身の生徒もかなりいます。塚本　吉紀

◆河合会長始め今期の理事の皆様方、ご苦労さまでした。コロナ騒ぎの治まらない中での会の運営お疲れ様でした。心から感謝です。　　田中　信昭

◆コロナ感染者数も減少傾向にあり、一安心できる状況なのでしょうか。早期の終息を願うばかりです。

内山　雅之

◆26 期最後の 6 月例会を迎えることが出来ました。コロナ禍の中、皆様のご協力に心から感謝申し上げます。有難うございました。　　河合　和郎

◆一年間、無事副幹事を終えることが出来ました。有難うございました。　　有泉　裕子

◆早いもので、本日が 26 期最後の例会となりました。皆様お世話になりました。有難うございました。

山口　三郎

◆本日は年度末例会です。河合会長、山口幹事、理事の皆さまコロナ禍で難しいクラブ運営、一年間本当にお疲れさまでした。　　杉山　友一

◆本日、新しいお仲間として泉道夫氏をお迎えします。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

杉山　友一

◆3 月に金婚式となり、この 6 月 3 日に喜寿となりました。健康な身体に産んでくれた両親に、日々守ってくれた家族に感謝です。今月我が家では吉兆の時に良く咲く君子蘭が三つの鉢に満開です。朱色に染まり Happy です。　持田　律三

◆3 年振りにドイツから娘と孫が帰ってきました。昨日は彼らを連れて皇居と皇居東御苑を宮内庁のガイド案内により一日中参観しました。明日からもあちらこちら案内するのが楽しみです。　岩島　寛

◆コロナ禍による暇に任せて、自叙伝を書いてしまいました。子供たちや孫たちに読んで貰えれば本望であります。　岩島　寛

◆河合会長体制の役員の皆様お疲れ様でした。次期池田体制の役員の皆様にはエールを送ります。よろしくお願いいたします。特に会員の全員参加で秋の 2022 全国大会が盛会に開催出来ますことを祈念して！！

飯田 冨美子

◆2 年間研修委員長を務めさせていただきました。会員皆様のご協力、特に委員会のメンバーにはご支援ご協力を頂き有難うございました。感謝です。

飯田 冨美子

◆振り返れば、苦難続きの一年でした。来期（27 期）は明るい一年でありますように！ プロバスの発展を！　馬場　征彦

◆駆け足の一年でしたが、また一つ年をとりました。池田副会長のバースデーカードをまたいただける幸せをかみしめながら。　一瀬　明

◆河合年度最後の例会です。コロナに振り回された一年でしたが、とにもかくにもゴールですね。お疲れ様でした。　一瀬　明

◆例会委員長齊藤さん、一年間大変お世話になりました。また、ご指導よろしくお願いいたします。

野口　浩平

◆あと 3 日で運転免許が切れます。60 数年お世話になりました。　橋本　鋼二

寄　稿

ピンホールカメラ　　永井　昌平

小さな穴を通った光が、壁などに外の景色を映すことは古くからよく知られていた（図１）。この現象を利用して作られたのがピンホール（針穴）カメラであり、カメラの原点である。カメラといっても、感光材料ができる前は、ピンホールの反対側にあるスリガラス等に景色を映して覗くだけの装置である。したがって、ここでは、ピンホールカメラというより、ピンホール現象の歴史について述べたいと思う。

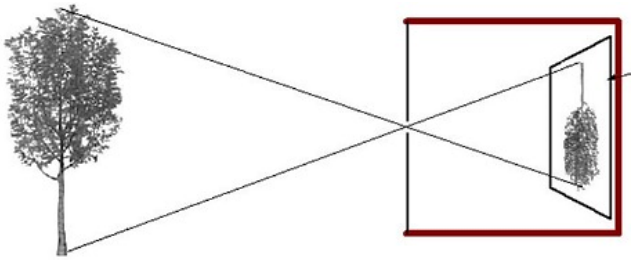


図 1　ピンホール現象

ピンホール現象の理論的記述は紀元前 4 世紀までさかのぼり、中国の墨子（BC450～350 頃）を中心とする墨家集団によって書き残された「墨経」（BC400）にその理論を説明した部分がある。ここでは、11 世紀に北宋の沈括が著した「夢渓筆談」の中にあるピンホール現象の説明を紹介しておく。それによると、「鳶が空を飛ぶと、その影は鳶につれて移動する。もし中間にピンホールがあって光線が絞られると、影は鳶と反対方向に動き、鳶が東に動けば、像（かげ）は西に、鳶が西に動けば、像は東に動く」と説明している。わが国では、江戸時代の後期になって、何人かの人達によってピンホール現象の原理について述べられるようになった。その中から、川本幸民の著した「気海観欄広義」（1851 年）の「光線屈折」の説にあるピンホール現象の説明を引用しておく。「孔より光線を通して物影を映すことができる。その孔が小さければ、諸線は混雑せず物形や色はよく区別できる。この理由から推察して写真鏡（ピンホールカメラ）を作ることができる」。

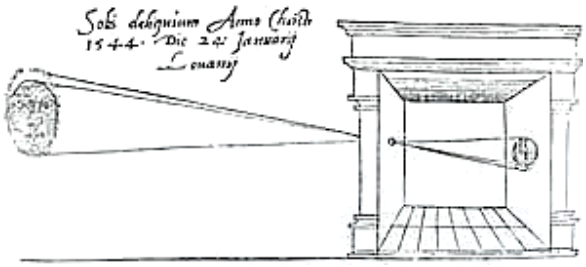


図 2　太陽観察

ピンホール現象は、古くから太陽の観察、特に日食の観察に使われていた。

15 世紀初頭に、イタリアの画家プレネルスキはピンホール現象を利用して、サンタ・アリア・デル・フィオーレの洗礼堂を素描している。

わが国では、太陽を観察したり写生に使ったりした記載はない。江戸時代に入って、ピンホール現象をテーマにした草紙や絵画が数点ある。葛飾北斎は、雨戸の節穴から差し込む光線が障子に映し出す富士山を、「富嶽百景」の中で「さい穴の不二」（1835 年）と題して描いていている（図３）。

この絵には、逆さに映った富士を驚嘆して凝視している二人（泊り客か）と、節穴、つまりピンホールを指している一人（奉公人か）が対照的に描かれている。曲亭馬琴は北斎より以前に、節穴を通して和紙上に逆さに映された景色を詳細に記している。

図 3「さい穴の不二」

ここまでは、史実に基づいて述べてきたが、ちょっと想像をたくましくしてみよう。縄文人はピンホール現象を使って太陽を観測し、四季を知って行動していたのではないか。プリミティブな太陽暦を使っていたのではないか。

太陽を観測していたと思われる縄文時代の遺跡がいくつかある。例をあげると、大湯環状列石（秋田県鹿角市）の二つの時計状組石を結ぶ線が夏至の日没の方向を指している。また、三内丸山遺跡（青森県青森市）の大型木柱遺構（図４）の長辺は夏至の日の出の方向を指している。他にも多くの遺跡で太陽観測と思われる遺構がある。

縄文人はピンホール現象を知っていたのだろうか。栗やドングリを主食としていた縄文人は、森林の中によく入り、木漏れ日が太陽を丸く映し出していることに気が付いたはずである。すなわち、縄文人はピンホール現象を知っていたであろう。

以上のことから、縄文人がピンホール現象を使って太陽観測を行っていたとしてもおかしくない。例えば、三内丸山の大型木柱（図４）の三階が（図２）に示すような部屋になっていたとしたらどうだろう。東側の壁の中央に 2cm 程度の穴（ピンホール・丸くなくてもよい）をあけ、西側の壁（多少平らであればよい）に太陽を映す。夏至の日になると、日の出の太陽が西側の壁の中央に、直径 7cm ほどの太陽像として映し出されることになる（長辺を 8.4m として計算）。この太陽像は一週間で 4cm ほど横に移動し、秋分から冬至へとさらに移動して、春分を経て、一年後の夏至の日に中央に戻る。こうした太陽像の移動を観測して、年間の作業や行事を行っていたのではないだろうか。

図 4　木柱遺構
三内丸山遺跡

太陽の方向に関連した遺跡については、太陽観察ではなく、太陽信仰による祭祀にかかわるものだという説があり、その方が自然なように思われる。ただ、発想を飛ばして天文台であったと考えてみるのも面白いのではないか。

ロウバイの実

我が家の狭い庭に今年もヒヨドリに啄まれずロウバイが花をつけました。ロウバイと言えば秩父の宝登山が有名で多くの客が訪れています。山波を背景に黄色く色づく姿は大変美しい眺めです。

ロウバイは中国原産樹木と言うことは知っておりました。初冬にひっそり咲く香りのよい洋盃状の花、それに蝋細工のような花です。

ロウバイについて勘違いをしておりました。ロウバイは花弁と萼の区別が着かないとは知っておりましたが、外側の花弁が黄色であるにもかかわらず、内側の花弁が紅紫色であることは忘れ

ておりました。

ロウバイの近縁種にソシンロウバイがあり、大変良く似ているので混同するようです。

我が家の庭で咲いたロウバイは、実はソシンロウバイでした。

6月に入り、実のようなものがついているのに気づきました。ロウバイの果実ではないかと思い、早速、調べてみることにしました。

私の所有する「日本の野生植物（木本・草本）フィールド版＜平凡社版＞」には掲載されておりません。当然ですね、中国原産の樹木ですから。

20 年ほど前に退職した際、余裕のある時間を活用して、一つのものに挑戦してみようと思いつきました。そこで見つけたのが東京農業大学の通信教育講座です。講座の名称は「樹木ウォッチングコース」で一年近くにわたり受講しました。年二回、夏と春のスクーリングも無事終了し、平成 13 年に修了証書をいただきました。

その際に教科書として使用した生涯学習センター発行の「樹木 250 検索ガイド」には、果実は円筒形状で先の方がヤヤ細いと記載されていました。更に、学生版の「牧野日本植物図鑑」でも調べました。ここでは、種子植物・双子葉類・離弁花群・ろうばい科として掲載されていました。

樹木を調べるには植物図鑑が必要となりますが、植物は日本古来のもののほか、外来種もありますので、一冊あれば事足りるとはいきません。調べるのが難しいです。複数の図鑑で調べないと正確な植物名は判明しません。複数の図鑑を使用するという煩わしさはあります。正式名および原産地、繁殖範囲などの知識が得られますので我慢しなければなりません。正しい知識を得るためには複数の図鑑が必要だと実感しました。

因みに、ロウバイは「日本薬学会」の資料によると薬用種であることも知りました。薬用には「つぼみ」を用いるとあります。生薬名は「ロウバイカ（臘梅花）」といい、頭痛や発熱、口の渇き、多汗などの改善に用いるとありました。　（雅）

俳句同好会便り

私の一句〈六月の句会から〉

河合　和郎

久しぶりに日常のペースで句会が開催できた。失われてはじめて気づく平凡な日常の大切さを噛みしめながら、談論風発の句会は盛り上がった。

夏めきてシャツの一枚新しく　　飯田冨美子

日常のさり気ない生活感・季節感がとてもいい。俳句は日々の生活から生まれる文芸だから。

紫陽花や小雨にけむる岬馬　　馬場　征彦

岬馬が小雨に濡れる都井岬の一景か。旅の思い出が蘇る一句。句材は過去現在を問わない。

潔く一日に散りし沙羅の花　　野口　浩平

沙羅の花は一日花。朝一面に散った様子は哀れだが、作者はそこに花の潔さを感じ取っている。

一瞬の出会ひ懐かしかがみっちょ　東山　榮

かがみっちょ（蜥蜴）に出会った作者は瞬時に子供時代に帰った。俳句は時空を超える文芸。

流鏑馬や射手駆け抜けて的の音　　矢島　一雄

勇壮な流鏑馬の一瞬間を捉えた。駆け抜けた人馬の後に、矢が射抜いた的が高々と舞い散る。

木には木の草には草の夏支度　　池田ときえ

木の兼題句。カ行のリズムがいい。森羅万象を木と草だけで表現した着想がまたいい。

青蔦や煉瓦造りの喫茶店　　田中　信昭

倉敷の町の光景とか。思い出が残る洒落た喫茶店の佇まいが浮かぶ。青と赤の対比も効果的。

吊り橋は緑滴る木立抜け　　下山　邦夫

一読、祖谷渓のかずら橋を思った。深い緑の山路を抜けると、そこには揚句の光景が広がる。

泥んこの田植え体験弾む声　　河合　和郎

昔の厳しい稲作の農耕作業も田植え体験の子供たちには遊びの延長。泥んこ遊びなのである。

編集後記

コロナ禍による例会中止というアクシデントもありましたが、中断せず発行できましたのは会員皆様方のご協力のお蔭と感謝しております。有難うございました。　内山　雅之